

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	市川市あおぞらキッズ		
○保護者評価実施期間	R7年12月3日		～ R7年12月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	R7年12月3日		～ R7年12月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 17
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月16日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者に対し、家族支援プログラムや研修会、情報提供の機会が設けられており、日頃のこどもの健康や発達状況について共通理解ができています。	保護者向けの勉強会やOB保護者による講演会、専門職による研修会等の機会を多数設け、いろいろな方の情報が得られるようにしています。また、日頃行っている自立課題や視覚の提示の仕方等お伝えしたり、連絡ノートや送迎時のコミュニケーションをとり、適宜面談や家庭訪問等を取り入れるようにしています。	引き続き、こどもや保護者のニーズを把握しながら、必要な家族支援ができるようにプログラムを組んでいきます。
2	こどもは安心感をもって通所し、固定化されない様々な活動内容により適切な支援が提供され、通所を楽しみにしています。	野菜や花の菜園活動、食育、水泳療育、音楽療育、園外保育等の様々な支援プログラムを取り入れ、活動プログラムが固定化されないよう工夫し、取り組んでいます。	引き続き、固定化されない様々な支援を心掛け、楽しく通所できるよう努めていきます。また、地域に開かれた事業運営を図っていきます。
3	近隣の保育園や幼稚園との交流の機会を設けています。	近隣の保育園や幼稚園と連携し、来園や訪問する機会を設け、同年齢や異年齢の子どもたちと一緒に過ごす経験をしています。	引き続き、保育園や幼稚園との交流保育を行い、更に連携が深まるよう回数や内容の検討をしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	行事の中で保護者やきょうだい同士の交流の場が提供されているものの交流の場が少なく、支援が十分ではありません。	乳幼児の内容になっていないため、行事へのお誘いのみになってしまいました。	・保護者の交流の機会を増やせるよう検討していきます。 ・乳幼児でも楽しめるような行事内容等の工夫をしていきます。
2	建物自体が古く、明るくきれいに整備された環境ではありません。	公民館との複合施設のため、築年数により老衰化しており、古い印象があると思われます。	引き続き、生活空間が清潔に保たれるよう環境整備に努めていきます。
3	地域に開かれた事業運営がされていません。	こども発達相談室や公民館等を含む複合施設になっており、公民館の文化祭にてお子さんの制作を披露する場はありましたが、共に活動する機会がなかったことが課題です。	・行事や活動内容等を通じて、保護者同士の交流の機会や兄弟同士の交流の場を検討していきます。 ・施設開放や季節の行事への招待等地域に開かれた活動を検討しています。